



# 住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校  
校長 木下 和紀  
令和8年2月27日  
令和7年度 第12号



## 感謝の気持ちを胸に

副校長 進藤 智洋

今年度もいよいよ終わりを迎えようとしています。校庭を吹き抜ける風の中に、少しずつ春の気配が感じられるようになりました。この一年を振り返ると、子供たち一人一人の成長の姿とともに、「感謝」という言葉が何度も心に浮かびます。

まず、日々学校生活を送る中で、子供たちは多くの人に支えられていることを、さまざまな場面で感じてきました。友達と助け合いながら学習に取り組んだこと、困ったときに声をかけてもらったこと、励まし合いながら学校行事をやり遂げたこと。そうした経験を通して、「ありがとう」という言葉の重みや、相手を思う気持ちを少しずつ身に付けてきたように思います。

また、保護者の皆様には、日々の健康管理や学習への励まし、学校行事や学校運営へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お忙しい毎日の中でも、子供たちを温かく見守り、支えてくださったからこそ、子供たちは安心して学校生活を送ることができました。ご家庭での何気ない一言や励ましが、子供たちの大きな力になっていたことと思います。

さらに、地域の皆様には、登下校の見守りや読み聞かせ、学習活動や学習環境の整備へのご協力など、学校を温かく支えていただきました。地域の方々のご存在は、子供たちにとって「自分たちは大切にされている」という実感につながり、学校を超えた学びの場を広げてくださいました。学校が地域とともにあることの大切さを、改めて感じた一年でした。

教職員一同も、子供たちの成長のそばに立ち会えることに感謝しながら、日々教育活動に取り組んでまいりました。うまくいかないことに悩みながらも、前を向いて努力する子供たちの姿は、私たちに多くの気付きと学びを与えてくれました。

まもなく子供たちは、新しい学年、新しい環境へと進んでいきます。これまでに会った人々への感謝の気持ちを胸に、自分自身の成長を信じて、次の一步を踏み出してほしいと願っています。今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



## 【伝統工芸品についての出前授業：4年生】

2月19日（木）に「これいい和」の方々による伝統工芸品についての出前授業が行われました。日本全国の様々な伝統工芸品を実際に見せながら説明をしてくださり、それぞれの工芸品の良さを学びました。また、福島県の白河だるまの絵付け体験をし、思い思いの個性溢れるだるまを完成させました。実際に伝統工芸品に触れることで、歴史ある伝統工芸品の良さを知り、自分が気に入った工芸品について紹介したいと、これからの学習への関心を高めました。



## 【ランニング教室:6年生】

持久走期間中である2月5日（木）に、箱根駅伝出場経験のあるマラソンユーチューバーの古和田 響さん(こわだ君)と、走る女優、MC、ランニングアドバイザーの宮崎 結希乃さん(ゆきのまる)をお招きし、ランニング教室を実施しました。

はじめに、それぞれの職業についてお話をさせていただきました。宮崎さんからは、小さい時からの好きなことや得意なことを生かして、「自分を信じる」ことが大切であることをお話いただきました。古和田さんからは、ユーチューバーになったきっかけとして、困っている誰かに役立ちたいという思いを伝えていただき、「もし自分がユーチューバーなら」というお題で子供たちに考えさせながら、お話をいただきました。

そのあと、校庭に出て、短距離走と長距離走の違い、腕振りなどフォームのポイントなどを教えていただきました。最後は一緒に走ることで、速さを体感することができました。走ることの楽しさを一人でも多くの子供たちが感じ取ってくれていると嬉しいです。



## 【文化交流活動:3・4年生】

3学期の「英語 Enjoy Week」の一環として、フチャールの国際交流サロンで日本語を勉強している方々に来ていただき、自国の文化や観光地の紹介をしていただきました。カナダ、スペイン、中国の3か国の方にスピーチをしていただき、独自の食べ物やおすすめの観光地について、写真を見ながら話を聞きました。

英語を交えながらのスピーチでしたが、子供たちは楽しみながら他国の文化を知ることができ、「食べてみたい!」「行ってみたい!」という声も聞かれ、有意義な交流の時間となりました。



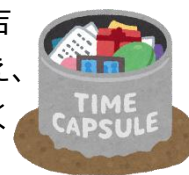
## 【社会科見学：3年生】郷土の森博物館

2月20日(金)の社会科見学では、昔の洗濯機やアイロン、電話等の道具を見学し、くらしがどのように変わってきたのかを学びました。今の道具と見比べながら、不思議に思ったことを話し合う子供たちの姿が見られました。体験コーナーでは、府中の歴史に触れたり、昔の衣服を着たりするなどの体験を通して、当時の人々のくらしに親しみをもつことができました。



## 【卒業プロジェクトに取り組んでいます：6年生】

6年生は、卒業に向けて「卒業プロジェクト」に取り組んでいます。6年間過ごした住吉小学校へのお返しや、仲間との最後の思い出づくりとして、自分たちでやりたいことを考え、計画を進めています。校庭の遊具の塗り直しやスピーカー袋の作成、学校全体を使ったかくれんぼ、タイムカプセルづくりなど、子供たちから多くのアイデアが生まれました。



この学習を通して、子供たちが自分たちの学校への強い思いを形にし、卒業までの毎日を大切に過ごしてほしいと願っています。